



別添資料

2022年8月吉日
イケア・ジャパン株式会社

IKEA 渋谷にて、学生が考える店舗集客アイデアの発表会を実施

桑沢デザイン研究所の18名が参加、一部のアイデアは今後店舗イベントで導入



「より快適な毎日を、より多くの方々に」をビジョンとするスウェーデン発祥のホームファニッシングカンパニー イケアの日本法人イケア・ジャパン株式会社（本社：千葉県船橋市、代表取締役社長 兼 Chief Sustainability Officer：ペトラ・ファーレ）は、2022年6月16日（木）に IKEA 渋谷にて学生が考える店舗集客アイデアの発表会を実施しました。提案された集客アイデアの一部は、8月26日（金）～9月10日（土）まで開催される IKEA Festival の店舗アクティビティで導入されます。

イケアは、ビジョンである「より快適な毎日を、より多くの方々に」提供するために、あらゆる人々のアイデアやニーズに常に耳を傾けています。今回、IKEA 渋谷と同じ渋谷区に所在する桑沢デザイン研究所内ゼミナール18名の学生よりアイデアやニーズを伺う機会をいただき、本企画を実施しました。ゼミナール講師は、立体造形家・雑貨コレクターで、「IKEA マニアック」や「IKEA ファンブック」の著者でもある森井ユカ氏です。

イケアには「Co-Creation（コクリエーション）」という考えがあり、最高のものをつくるには「共につくり上げる」ことが大切だと信じています。今回提案された素晴らしいアイデアの一部は、この「Co-Creation」の考えのもと、今後実際に店舗で導入される予定です。

本件の内容に関するお問合せ先

イケア・ジャパン株式会社 PR チーム ikeajapanpr@ingka.com



当日は、「イケア都心型店舗への集客につながるアイデア」というテーマのもと、学生18名がプレゼンテーションを行いました。店舗周辺のごみ拾いや身体を動かすイベントなどイケアが目指すサステナブルで健康的な暮らしを実現するためのアイデアや、イケアで販売されているぬいぐるみやファッションアイテムを活用したアイデアなど、斬新な提案が次々と披露されました。

今回のワークショップについて、ゼミナール講師の森井ユカ氏は、「マーケティングを学ぶ学生たちにとって、企業と実際の店舗について調査し、顧客のニーズを考える貴重な機会となりました」と述べました。今回のワークショップについて、IKEA 渋谷 Deputy Market Manager



(副店長)の菊池武嗣は「イケアが考えるコミュニティとの共存につながるアイデアが含まれており、またイケアについて深く理解された具体的な提案ばかりでした。今後一部のアイデアをぜひ実現させたいと考えています」と述べました。

イケアはこれからも地域コミュニティの方々の意見を取り入れながら、ビジョンの実現に向けて取り組みを推進してまいります。

参考：当日の様子



本件の内容に関するお問合せ先

イケア・ジャパン株式会社 PR チーム ikeajapanpr@ingka.com



本件の内容に関するお問合せ先

イケア・ジャパン株式会社 PR チーム ikeajapanpr@ingka.com